

一般社団法人全日本学生柔道連盟だより

第18号

2013年6月20日発行

編集・発行 総務委員会

新年度を迎えて ～決意新たに～

今、日本柔道に対して内外より大変厳しい目が向けられており、その一翼を担う学生柔道界にも同様の目が向けられております。学生柔道に携わる一人ひとりが、この難局に真摯に向き合い、率先垂範の精神で改革に努め、明日を担わなければならないと考えております。言うまでもなく、学生柔道連盟は、教育機関としての活動を使命としております。「知識は学問から、人格はスポーツから」という先人の言葉がありますが、連盟は、学生諸君が実社会に出て、有為な人材として活躍ができるよう、いかなる状況にあっても、その機会を創出し、諸事業を展開して参る所存です。

本年度は、佐藤宣践会長4期目の折り返し年度にあたります。これまでと同様に、佐藤会長の強いリーダーシップのもと、執行部一丸となり直面する課題解決や将来展望に立った取り組みを行っていきます。なお、総務・教育・財務・競技の各委員会（下記参照：組織図）では、諸事業推進のため、活発な議論とともに実践的な提案と行動が展開され、その実をあげるべく活動しております。

自立した財政基盤の確立

「入をはかり、出を制す」との運営指針により、これまで、持続可能な財政基盤を構築するために、執行部一丸となり取り組んで参りました。特に佐藤会長の提唱により導入されたオフィシャルサプライヤー制度や、拡充されたサポーター（賛助会員）制度が功を奏して、現在、連盟の財政運営は安定しております。

しかしながら、現在の柔道界を取り巻く厳しい社会経済環境は、本連盟の運営にも深刻な影響を与えており、今後、協賛企業へのアプローチは大変厳しい状況が予測されております。各地区、会員との情報共有、連携をはかり、さらなる自立的な運営を期して、中長期的視野に立った基盤づくりをして参ります。

法人としての役割の遂行

昨年度は、主催する3大会をはじめ、教養講座・海外研修・審判講習会（2回）・学生柔道に関する助成などを実施しました。

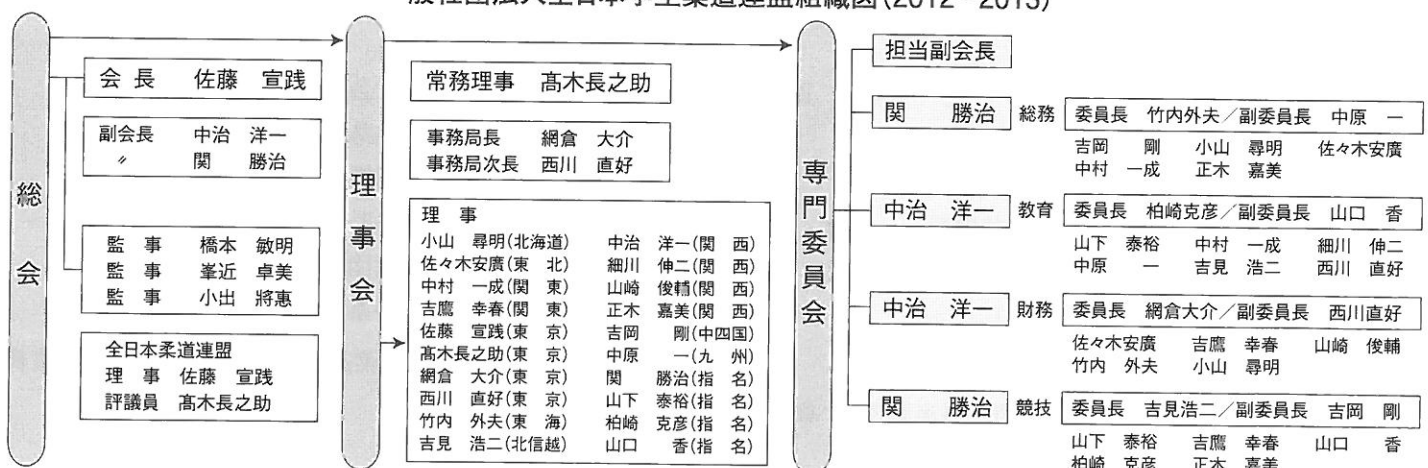
本年度も、例年通りの事業を実施いたします。大会事業としては、まもなく日本武道館において開催される全日本学生柔道優勝大会をはじめ、三大大会を開催いたします。また、国際社会で活躍出来るグローバルな人材を育成することを目的として実施されている海外研修事業は、より充実させるべく準備を進めております。尚、教養講座事業に関しましては、柔道界の厳しい環境を踏まえ、教育機関として相応の内容を計画し、発信して参ります。

運営方針の継続

これまでと同様、運営指針を定め、事務の簡素・効率化を図ります。さらに地区学連との連絡調整や、会員との双方向での情報交換の充実を図ります。また、事業別の仕分けも定期的の実施し、恒常的な経費の見直し、節減をはかり、連盟の健全運営に努めます。

常務理事 高木長之助

一般社団法人全日本学生柔道連盟組織図(2012-2013)



正会員数(地区学生柔道連盟別・2013年6月20日現在)

北海道	東北	関東	東京	東海	北信越	関西	中国四国	九州	合計
21	27	44	50	33	18	53	31	35	312

【北海道】

北海道の学生柔道の活性化を促そうと当時の大学の監督ら集まり、打開策を協議したのが今から10年以上前のことでした。女子は男子に比べ試合への出場機会が少なかつたため、より多くの学生に試合の出場機会を得てもらいたいとの思いがあり、北海道学生女子柔道階級別選手権大会を創設しました。毎年行っている新人戦（男子）の開催とあわせて行うこととしました。昨年度は6大学から軽量級、中量級、重量級の3階級に20選手がエントリーし覇を競いました。

出場できる学年も新人戦のように制限を設けず4年生（獣医・医学・薬学部は6年生）までとしています。これまでの大会では最終学年であっても11月開催の同大会に出場を果たす学生もいるほどです。平成25年は節目の10回目を迎えますが、以前から行われていた大会のように学生の間でもしっかり定着している様子がうかがえます。

当連盟では今年度も例年通り5大会を予定しています。5月25日に全国予選をかねて学生柔道優勝大会、同じく全国予選をかねて8月31日に学生柔道体重別選手権大会、9月1日に学生柔道体重別団体優勝大会、そして11月25日に学生柔道新人大会と前述の学生女子柔道階級別選手権大会を行います。

本年度は先の理事会で役員を改選しました。長年北海道学生柔道の運営にご尽力された吉田博一副会長が退任し、新たに前理事長の工藤正義氏が副会長に選任されました。また、事務局長としてこれまで10年間当連盟の運営を支えていただきました岩井眞氏が後任にバトンタッチをいたしました。

なお、今期の役員（敬称略）は以下の通りです。

会 長	岩 崎 満			
副 会 長	畠 中 金雄	丸 山 淳士	工 藤 正義	
理 事 長	小 山 尋明			
副理事長	岩 井 眞	安 達 昭弘		
常任理事	宮 本 正範	金 澤 美樹彦	河 合 一丸	
	小 田 島 武志	阿 部 眞久	松 浦 英幸	
	十 倉 宏（事務局長）			
監 査	森 洋一			
	北海道学生柔道連盟 事務局長 十 倉 宏			

【東北】

東日本大震災から2年が経過したが、国内外からのご支援により復興への兆しが見えつつある。しかし、今現在も震災により多くの方が苦しんでいることを我々は忘れてはならない。

東北の学生柔道界を盛り上げるためにも、今年度の全日本学生柔道優勝大会や全日本学生柔道体重別団体優勝大会において、男子では全国ベスト8入賞を、女子はベスト4進出を目標にがんばりたい。

1. 東北学連役員の改選

平成25年度の主な役員は以下のとおり。

顧 問	佐々木 武人・前東北学連会長
会 長	遠藤 純男・ノースアジア大学
副 会 長	高橋 富士男・東北学院大学
副 会 長	村 本 光二・東北大学
理 事 長	佐々木 安廣・富士大学
副 理 事 長	三 戸 範之・秋田大学
副 理 事 長	高 橋 俊也・弘前大学
監 事	大 関 貴久・東日本国際大学
監 事	南 條 充寿・仙台大学
事 務 局 長	仲 田 直樹・仙台大学
(新) 学生委員長	山 形 彩乃・仙台大学

2. 本連盟の活動状況

平成25年2月に開催された常任理事会において、昨年から全日本学生柔道大会で採用されたWEB申し込みを地区大会より採用することが決定した。また昨年度同様、学業単位取得状況により大会出場への制限を設けることとした。これは、学生の本分を全うしてもらいたいという意向からであり、日頃より規律正しい生活を送るよう促したい。

3. 今年度の大会予定

①東北学生柔道優勝大会

5月26日（日）宮城県立武道館

②東北学生柔道体重別選手権大会

8月31日（土）岩手県営武道館

③東北学生柔道体重別団体優勝大会

9月1日（日）岩手県営武道館

東北学生柔道連盟 事務局長 仲田 直樹

【関東】

平成 25 年度に向けて

本年 2 月に行われた平成 24 年度関東学生柔道連盟総会において、昨年度に引き続き、以下の体制で組織運営が行われた。

会長：小俣幸嗣（筑波大学）、副会長：柏崎克彦（国際武道大学）、木村仁（神奈川大学）、野瀬清喜（埼玉大学）、理事長：西田孝宏（山梨学院大学）、副理事長：中村一成（防衛大学校）、吉鷹幸春（桐蔭横浜大学）、理事：木村昌彦（横浜国立大学）、越野忠則（国際武道大学）、岩崎卓（流通経済大学）、岡田弘隆（筑波大学）、矢崎利加（国際武道大学）、廣川充志（桐蔭横浜大学）、三宅仁（平成国際大学）、小山勝弘（山梨大学）、増地千代里（筑波大学） 監事：小川正行（群馬大学）、高橋進（関東学園大学）、事務局長：増地克之（筑波大学）、事務局次長：山部伸敏（山梨学院大学）。本連盟の更なる発展のためにご尽力いただきたい。

さて、平成 25 年度の本連盟の主な事業計画は、5 月 26 日関東学生柔道優勝大会（男子 60 回 女子 19 回）、8 月 31 日、9 月 1 日関東学生柔道体重別選手権大会（男子 60 回 女子 26 回）の競技会の開催、年 1 回の審判講習会の開催及び海外研修の実施である。

昨年度は本連盟独自の海外研修の一環として、香港国際大会へ関東学生柔道連盟から男子 11 名、女子 4 名の計 15 名の選手を派遣した。今年の 2 月から国際大会で使用されている新ルールが適用された中、金メダル 4 個・銅メダル 4 個を獲得することができた。この好成績をステップとして参加選手には更なる飛躍を期待する。

また、昨年は 4 年に一度のオリンピックがイギリス・ロンドンで開催され、本連盟に在籍している 81kg 級の中井貴裕選手（流通経済大学）、78kg 級の緒方亜香里選手（筑波大学）の 2 名が出場し、中井選手が 5 位入賞を果たした。さらには、昨年 4 月に行われた全日本女子柔道選手権大会では、同じく本連盟所属の山部佳苗（山梨学院大学）選手が見事優勝を収めた。

現在日本柔道界は苦境に立たされている。国際大会での不振、体罰問題さらには助成金問題など克服すべき課題は多い。こういう逆風の中で、学生柔道が目指すものは、競技力向上だけでなく、社会に送り出すための人材育成である。嘉納師範の遺訓である心身を鍛え、己を完成し、世を補益するという柔道修行の目的を体現していくことこそが、我々学生柔道に求められているのであると考える。

関東学生柔道連盟 事務局長 増地 克之

【東京】

2013 年度 スタートにあたり

本年度は、現在の柔道界を取り巻く厳しい環境下でのスタートとなりますが、連盟の目的であります学生柔道の振興と発展を踏まえ、正しい学生柔道の普及に一層努めていく所存です。

運営面においては、高木会長が就任時より掲げる、『佐藤前会長の運営方針を継続しつつ、身の丈にあった連盟運営を心がけ、健全な運営をしていきたい』との考えから、本年におきましても「運営ガイドライン」を策定し、その実をあげるために、執行体制の充実をすすめております。「自主財源ベースの運営」を大きな目標として、具体的には、固定費の節減策として事業仕分けを行い、併せて IT 化の推進を図り、実をあげております。さらに事務の効率化を図るためにメールによる事務連絡の徹底、大会申し込みのデータ化の完全実施等多くのことに取り組みました。

また、財源確保のために佐藤前会長が提唱された「Come Back 柔道」の一環として「連盟サポーター制度（賛助会員制度）」も定着し、試合会場サポーター専用シートの設置やティールーム設置は、大変好評をいただいております。今後も学生柔道の OB の皆様が多く集うことのできる場所や機会の提供を進化させていきたいと考えております。

学生柔道の普及事業として、昨年度で 8 回を数える「柔道出前講座」は、講師としてメダリストの中村兼三先生にご指導いただき、100 名近くの参加者を迎え、盛況のうちに終了しました。教育事業として、学生が社会貢献・奉仕の心を養うために、全日本視覚障害者柔道大会の運営協力を行い、国際感覚を養うために海外研修も実施いたしました。広く学生柔道を知っていただくために、主要事業であります各大会の模様を配信する、大会 WEB 配信を実施し好評を得ています。いまだ問題となっている皮膚真菌症（トルコフィトン・トンズランス）対策にも積極的に対処しております。具体的には、当連盟加盟学生全員を対象とした皮膚真菌症検査を実施し、研修会を設けて、治療を徹底するというものです。また、加盟校全学生を対象としたアンケート調査を実施し、今後の事業計画の基礎資料にしていく考えです。

本年度も社会に有為な人材を輩出することを目的として、教育普及事業を充実させ、学生役員を中心にした運営を心がけ、加盟校の意見を出来得る限り反映させることにより、開かれた連盟運営を行っていききたいと考えていますので各地区連盟並びに関係各位のご協力をお願いい

たします。

東京学生柔道連盟 理事長 網倉大介

学生委員より

私達、学生委員は4年生4名、3年生3名、2年生1名の計8名で平成25年度のスタートを切りました。それぞれ所属する大学は異なりますが、個性豊かで賑やかな面々です。全員が自分の仕事に責任を持ち、日々活動を行っております。

当連盟では年間2つの全国大会、4つの東京大会の運営と学生柔道の普及・発展のための諸事業を主な活動としており、学生委員としての仕事は、他では経験できない事ばかりです。色々な縁が重なって東京学生柔道連盟に携わる事ができ、また多くの方に支えられ活動ができているという事への感謝の気持ちを忘れずに大会運営のシステム向上に微力ながら貢献していきたいと思っております。

また嘉納治五郎師範の教えにあります「精力善用」「自他共栄」の精神に則り、学生柔道連盟学生委員としての多くの経験を社会に出た際に活かしていく事を最大の目標とし、日々練習に打ち込んでいる選手と同じ気持ちで事業に取り組んでいきたいと考えています。

昨今、各メディアにおいて柔道界が取り沙汰されています。そのような中でも日々の稽古に励んでいる選手が大会という舞台で日頃の練習の成果を遺憾なく発揮できる環境づくりができるよう学生委員一丸となって精一杯努力いたします。

各地区学生柔道連盟並びに関係者の皆様には今後一層のご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

東京学生柔道連盟 平成25年度学生委員長 寺下浩陽

【東海】

東海学生柔道連盟は、長谷川会長・竹内理事長を中心とした役員により、組織体制や大会運営方法の見直しなどを軸に、活性化を目指して少しずつ改善を進めています。東海地区学生柔道の発展と活発な組織の永続性を意識して、引き続き取り組んでいきたいと思っております。

昨年度は、全日本学生女子柔道優勝大会 女子3人制において、名城大学が準優勝を果たしました。あと一步のところまで悲願の優勝を逃していますので、今年度はこの結果を上回る成果を期待したいと思います。それ以上に全国大

会での男子の奮起を望むところです。そのためには各大学の尽力だけでなく、東海学生柔道連盟として合同練習会などを積極的に開催していきたいと思っております。

また、今年度の主要大会である東海学生柔道夏季優勝大会（第60回）、東海学生女子柔道夏季優勝大会（第20回）は、それぞれ節目の大会となります。記念となる大会を盛り上げられるよう、役員一同、全力を注いでいます。

東海学生柔道連盟 副理事長 久野 高裕

1. 役員

会 長	長谷川 優（中京大学名誉教授）
副 会 長	金子 修己（中部大学教授）
副 会 長	関 厳（名城大学教授）
理 事 長	竹内 外夫（中京大学教授）
副 理 事 長	福井 博泰（名城大学職員）
副 理 事 長	久野 高裕（愛知大学職員）
学生委員長	太田 朋余（中京大学）
学生副委員長	新藤 勇（名城大学）

2. 加盟校数

33大学（平成25年3月31日現在）

3. 行事予定

5月19日（日） 於：愛知県武道館

第60回 東海学生柔道夏季優勝大会

第20回 東海学生女子柔道夏季優勝大会

8月31日（土） 於：愛知県武道館

第32回 東海学生柔道体重別選手権大会

第30回 東海学生女子柔道体重別選手権大会

9月14日（土） 於：中京大学武道場

全日本学生柔道体重別団体優勝大会

（男子15回 女子5回）東海選考会

11月17日（日） 於：愛知県武道館

第61回 東海学生柔道冬季優勝大会

11月23日（土） 於：愛知県武道館

第6回 東海学生女子柔道冬季優勝大会

4. 昨年度大会結果（団体優勝校）

第59回 東海学生柔道夏季優勝大会

一部名城大学 二部岐阜大学

第19回 東海学生女子柔道夏季優勝大会

5人制朝日大学 3人制名城大学

全日本学生柔道体重別団体優勝大会

（男子14回 女子4回）東海選考会

男子愛知大学 女子朝日大学

第60回 東海学生柔道冬季優勝大会

一部名城大学 二部同朋大学

第5回 東海学生女子柔道冬季優勝大会
名城大学

5. 学生委員長（太田朋余さん）の抱負

大学1年生の時に学生委員長である先輩のお手伝いをさせて頂きました。その時に初めて大会を選手ではない、運営の角度からみることができ、多くの人が様々な準備をしてくださっているおかげで大会が開催されていることを知りました。

理事会の開催やプログラムの制作など、日々勉強し、選手の皆さんが滞りなく活発な試合ができるよう、段取りよく運営していきたいと思います。

11月16、17日

第10回湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会（女子）

11月23、24日

第10回湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会（男子）

2月23日 北信越学生柔道連盟常任理事会

3月3～7日 北信越学生春季強化合同合宿（男子）

3月26～28日 “ （女子）

※詳細連絡先

高岡法科大学内 北信越学生柔道連盟事務局

TEL（代表）0766-63-338

mail : yoshimi@takaoka.ac.jp

【北 信 越】

北信越学生柔道連盟は、現在、18の大学・高等専門学校から構成されています。近年、多くの大学で部員確保が困難な状況で、大会参加はもとより日常の練習にも支障を来すところもあります。当連盟では柔道の強化だけでなく普及、練習環境の確保なども含めて夏・春の強化練習会なども企画しています。さらに、湊谷杯の運営などを通じて大会参加の機会が増えるよう工夫しています。

多くの先生方のご協力を得て企画しました第9回湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会には、北は東北地区から南は九州地区までの男女延べ49大学、470名を超す学生が出場し、盛大に行われました。今年度は参加者の増加に伴い男子、女子それぞれ分けて大会設定し、少しでも多くの方々が参加できるようにしました。特に、女子では団体戦も計画していますので、多くの学生の皆さんの参加をお待ちしています。

※強化合同練習会参加などの問い合わせ先につきましては
下記の担当者を通してお申し込み下さい。

男子担当：渡辺直勇 金沢学院大学 076-229-8843

鈴木貴士 金沢工業大学 076-248-9926

女子担当：吉見浩二 高岡法科大学 0766-63-3388

渡辺涼子 金沢学院大学 076-229-8867

【事業予定】

5月18日 北信越学生柔道連盟役員総会

5月19日 北信越学生柔道優勝大会（男子62回女子22回）

8月2日 北信越学生柔道連盟夏季合同練習会（女子）

8月12～17日 “ （男子）

8月31日 北國杯北信越学生柔道体重別選手権大会

（男子31回 女子24回）

9月1日 第14回北信越学生柔道体重別団体優勝大会

【関西】

1. 平成25年度関西学生柔道連盟行事予定

5月26日（日）

第63回 関西学生柔道優勝大会

第21回 関西学生女子柔道優勝大会

（ベイコム総合体育館〔尼崎市記念公園〕）

9月1日（日）

第32回 関西学生柔道体重別選手権大会

第25回 関西学生女子柔道体重別選手権大会

（天理大学杉之内第一体育館）

11月2日（土）・3日（日）

全日本学生柔道体重別団体優勝大会

（男子15回 女子5回）

（ベイコム総合体育館〔尼崎市記念公園〕）

2. 本年度の抱負

今年度は、IJFの柔道衣規制の改正等、ルールの再検討に伴う様々な試行が行われております。これに伴い、柔道界でも賛否両論の声が上がっております。関西学生柔道においては、スポーツとしての柔道の発展に力を入れ、武道としての自他共栄の精神を守るべく、発展に尽くしていきたい所存です。

昨年度から関西学生柔道連盟においても全日本学生柔道連盟と同様にホームページを作成致しました。さらには、各大会の申し込み方法をweb申し込みにするなど、より一層分かりやすくかつ迅速な運営を目指し、努力を続けています。

しかしながら、当連盟は現在、学生幹事が減少しており、大会運営が困難な状況になっています。一人でも多くの学生が当連盟に興味を持ち、協力してもらえよう、より一層の努力を行い、当連盟の未来を担う学生幹事を育てていきたいと考えています。そして、関西学生柔道界を盛り上げていきたいと考えています。

最後に、当連盟はこれからも円滑な大会運営をしていきたいと考えています。大会を運営するにあたっては、我々学生だけでなく、役員の先生方やその他様々な方々の多大な協力を頂いておりますことを、この場をお借りして感謝申し上げます。本年度もよろしくお願いいたします。

3. 役員の紹介

会 長 佐野 修弘 氏

副 会 長 山岸 久一 氏

近藤 徹 氏

中治 洋一 氏

理 事 長 細川 伸二 氏

4. 加盟校

現在 53 校が加盟しております。

（2013 年 4 月現在）

【中国四国】

本連盟は、平成25年2月2日に常任委員会を開催し、平成25年度の行事などが決定されました。

（平成25年度 中国四国学生柔道連盟 行事予定）

4月7日（日）

中国四国学生柔道連盟 定例幹事会（岡山商科大学）

5月18日（土）～19日（日）

中国四国学生柔道連盟 理事会・総会

中国四国学生柔道優勝大会

中国四国学生女子柔道優勝大会（岡山県立武道館）

7月13日（土）

中国四国学生柔道連盟 定例幹事会（未定）

8月31日（土）～9月1日（日）

中国四国学生柔道体重別選手権大会

中国四国学生女子柔道体重別選手権大会

中国四国学生柔道体重別団体優勝大会

（広島市東区スポーツセンター）

9月上旬・2月下旬

中国四国学生柔道連盟 男女強化合宿

2012年度は、本連盟主催で春季強化合宿を実施しました。今回は女子の合宿を担当された近藤にインタビューしました。

徳山大学 近藤 優子先生（女子担当）

「平成24年度全日本学生柔道優勝大会にてIPUが平成23年度全日本学生柔道体重別団体優勝大会に引き続き優勝を飾った。そのIPUも含め中国四国地区の中四国学生のレベルアップを目的とし始まった春季合宿は今年も2月22日～24日の3日間徳山大学で行われた。中四国学連中心に女子総勢55名が集まり、意欲的にお互いが切磋琢磨する姿が見られ、大きな怪我もなく充実した時間を過ごした。この3日間という短い時間だが、多方面からの刺激をお互い与え合うことのできる大変貴重な合宿として今後も続けていき、更なるレベルアップを図りたい。」

【日程：平成25年2月22日（金）～2月24日（日）

場所：徳山大学柔道場】

このように、中国四国学生柔道連盟では、出場選手の強化および地区全体のレベルアップを目的に頑張っております。

今年度も、中国四国学生柔道連盟（加盟校31校）一丸と

なって頑張ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

中国四国学生柔道連盟 事務局長 梶津 良仁

【九州】

平成25年度定例総会を5月18日に開催し、議題は全てご承認いただき可決決定いたしました。

第62回九州学生柔道優勝大会・第22回九州学生女子柔道優勝大会を5月18・19日に福岡武道館において、男子23校（218名）・女子9校（47名）が参加して熱戦が繰りひろげられました。

男子の1部入替え戦においては、東海大九州と九州産業大が1部校に挑戦し見事勝利し、来年は、2部校の挑戦を受けることになりました。

結果は次の通りです。男子 1部優勝 鹿屋体育大（19年ぶり5回目）・2部優勝 東海大九州（2年ぶり4回目）。女子5人制優勝 九州看護福祉大（3連続3回目）・3人制優勝 鹿屋体育大（3年連続5回目）。6月に開催されます全国大会に九州からは、男子6校（鹿屋体育大・福岡大・日本文理大・福岡教育大・熊本大・九州産業大）、女子5人制3校（九州看護福祉大・福岡大・九州共立大）、3人制4校（鹿屋体育大・福岡工業大・別府大・北九州市立大）が出場致します。

選手諸君の健闘を祈ります。

※役員及び25年度の九州地区の行事は次の通りです。

会 長	藤田 弘明
副 会 長	筑紫 仁、園田 勇
理 事 長	中原 一
副理事長	安河内春彦
事務局長	野田 修

5月18日（土）平成25年度定例総会

5月18日（土）第62回九州学生柔道優勝大会 2部

5月19日（日）第62回九州学生柔道優勝大会 1部

第22回九州学生女子柔道優勝大会

8月31日（土）第27回九州学生女子柔道体重別選手権大会

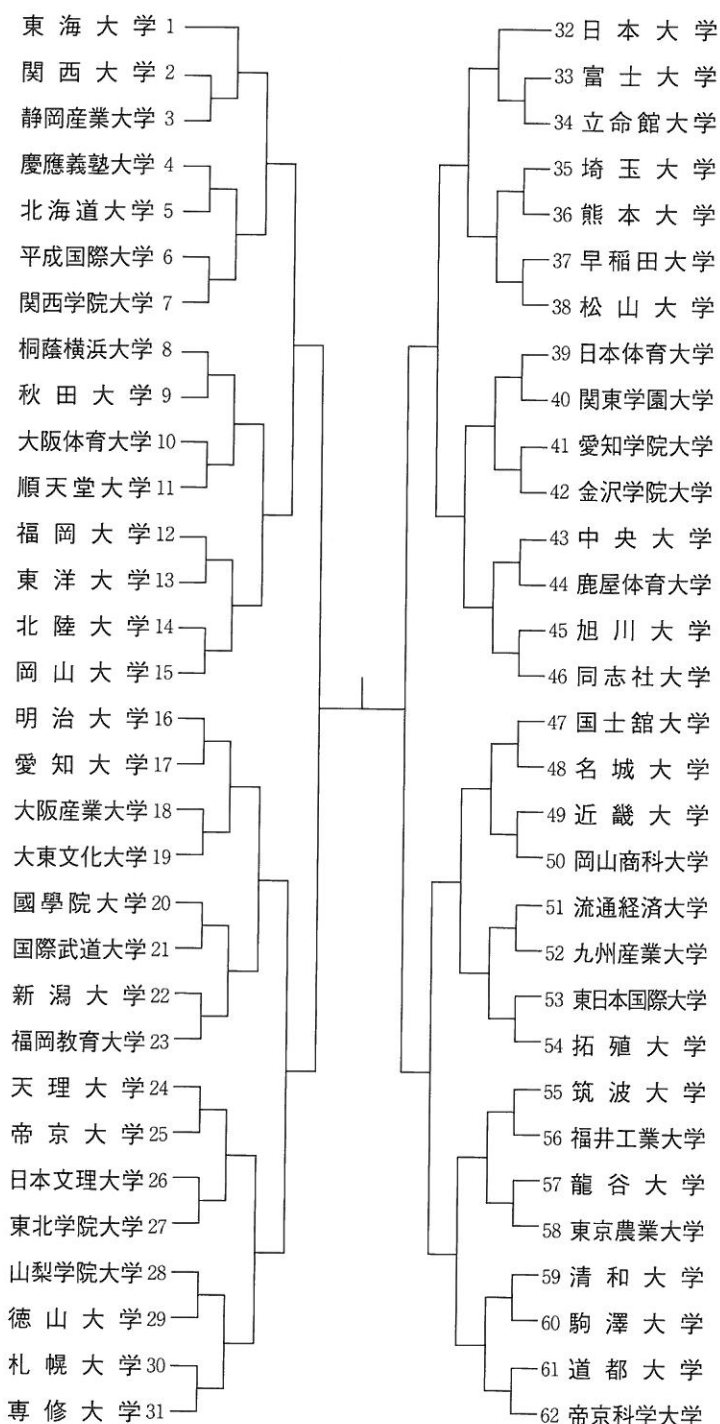
8月31日（土）9月1日（日）

第57回九州学生柔道体重別選手権大会

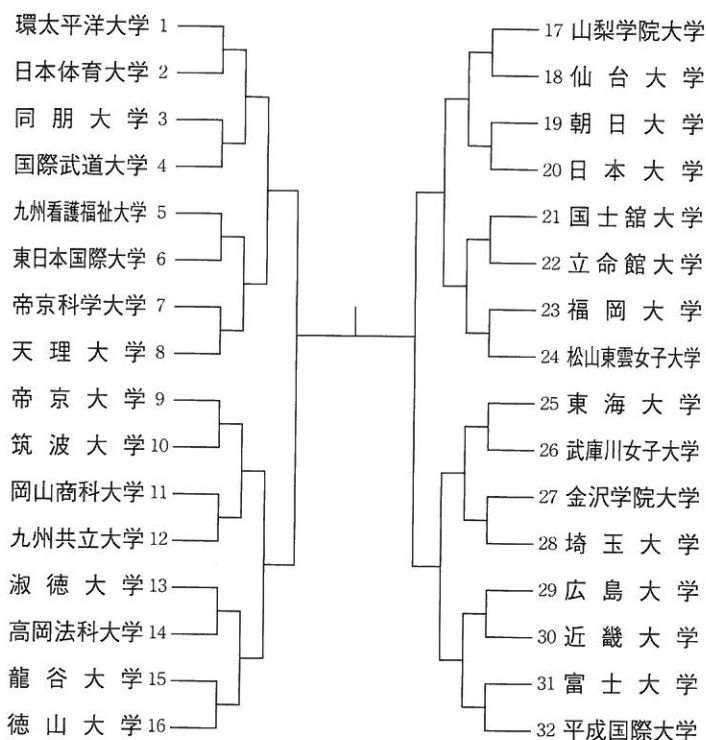
平成25年度全日本学生柔道優勝大会(男子62回 女子22回)

— 6月22・23日 開催 —

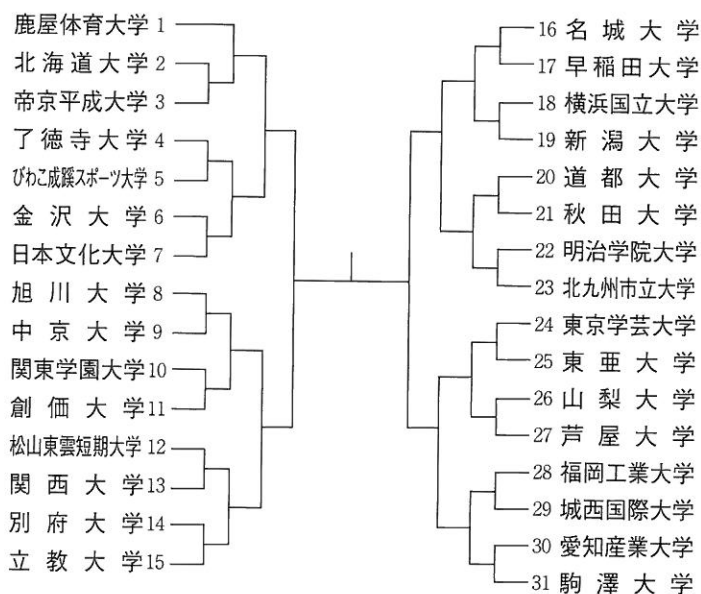
男子団体対戦表



女子団体5人制対戦表



女子団体3人制対戦表



一般社団法人 全日本学生柔道連盟 (ALL JAPAN UNIVERSITY JUDO FEDERATION)

事務所 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館2階

TEL 03-3818-1587 FAX 03-3818-1960

E-mail: gakujuren@gakujuren.or.jp URL: <http://www.gakujuren.or.jp>